

地元貢献する日々

学生時代の経験活かして地域に貢献



吉野川市役所健康福祉部
地域福祉課地域支援係

岡田 祐子 おかだ ゆうこ (旧姓:石田)

生まれは北海道ですが、幼いころに徳島に来て、山城町(三好市)で小学校、鴨島町(吉野川市)で中学校を出た岡田さんは、大学を卒業したら地元で貢献できる職に就きたいと、迷わず鴨島町役場へ。

現在、吉野川市役所の地域福祉課で働く岡田さん。7月に今の部署に変わり、高齢者を対象とした福祉関係の仕事にいきがいを感じ、毎日を送っています。緊急通報装置や介護用品の給付などを担当しています。

鴨島町時代は出納課で働き、その後、市町村合併と同時に設置された鴨島支所地域課で数ヶ月窓口業務に携わり、その後企画政策課(後に秘書企画課と改称)で広報広聴係・男女共同参画推進係として2年半。わかりやすい広報誌づくりのために文章やレイアウトを考え、カメラを片手に各種イベントの取材などに奔走する日々でした。

鍛えられた学生時代

大学に入って、興味のあった方言の研究をしようと、四国放送「おはようつくしま」の阿波弁講座で有名な仙波光明先生(総合科学部教授)のもとで大学院まで一貫して方言の研究をしました。



大学時代の岡田さん

「バイクで徳島中を走り回りました。飛び込みであちこちのお宅におじゃまして、お年寄りの方から話を聞きました。もともと人と話すのは苦手だったので、学生時代に鍛えられましたね。大学ではそれまでまともに使ったこともなかったパソコンも勉強して資料の整理をしたり、写真の授業を受けたりもしました。それ以外にも、声のでる言語地図を作ったりいろんなことを覚えるだけではない。自分で考えることが大切だと実感でき、この大学で学べてほんとうによかったと思います。だから役場の面接の時に学生時代にがんばったことについて聞かれたのですが、

あれもこれもといっぱい話すことがありましたよ笑。現在は大学で学んだことや経験を全部活かせる仕事に就けたのでほんとうによかったです」

目標を見つける学生時代

総合科学部は幅の広い分野です。岡田さんは、「いろいろな分野の友だちがいて、何か困ったことがあれば、あああれはあの人に聞いてみよう、このことはあの人を知ってるかも、すぐ連絡をしてみよう」と

そんな岡田さんから、後輩の皆さんへのメッセージです。

「大学に入ってから目的や目標がなかったり、どうしたらいいかわからなかったりする人もいるかもしれませんが、勉強をしていく中で自分のやりたいこと、学びたいことが見えてきます。見つけたテーマに心を取り組んでいけば、そのがんばりが将来につながっていくと思います。自分の力を出しつくすつもりでがんばってください」



略歴 2000年 総合科学部人間社会学科 卒業
2002年 大学院 人間・自然環境研究科 人間環境専攻 修了
// 鴨島町役場
2004年 町村合併により吉野川市役所に

